

Istanbul Weekly vol.2-no.11

イスタンブールウィークリー

発行：在イスタンブール日本国総領事館 発行日：2013年3月22日（金）

— 今週のポイント —

1. 政治：オジャラン、武装要員の国外撤退を呼びかけるメッセージを発表。
イスラエル外務副大臣「トルコに謝罪の用意あり」。
2. 軍事：参謀総長がパトリオットミサイルの配備地を視察。
トルコ、武器輸入国世界第4位。
3. 経済：サバンジュ・グループ、電力供給会社民営化2件を落札。
トルコ東部での投資活発化の兆し。
4. 治安：イスタンブール県警、DHKP/Cに対する取締を実施。
19日、アンカラにて連続爆弾事件発生。
5. 社会：タクシム広場の一部、歩行者に開放。
サルエルで人を咬んだ犬が狂犬病で死亡。

1. 政治

【PKK関連】

●各地でネヴルーズ（春祭り）

(1) 17日、イスタンブールではカズルチェシュメにおいてネヴルーズ（春祭り）が行われ、デミルタシュ BDP 共同党首が出席し、「2013年のネヴルーズは、新しい（クルド問題解決に向けた）イムラル・プロセスという良い知らせとともに始まった、トルコ人とクルド人の若者は殺し合いを決して望んではない」と述べた。（3月18日付 HT 紙 15面）

(2) 17日にトルコ全国各地で行われたネヴルーズの内、サカリヤ、アンタルヤ、イズミット、エルズルムの4県で群衆同士の衝突が起き、それぞれ逮捕者が出た。（3月18日付 HT 紙 15面）

●第3回 BDP 訪問団、イムラル島訪問

(1) 18日、第3回目となる BDP 訪問団がイムラル島に服役中の PKK 首領オジャランを訪問する予定。BDP 訪問団は、デミルタシュ BDP 共同党首、ブルダン同党会派長、スレイヤ議員からなる。オジャランは、停戦決定及び PKK の国外退去に関する決定を同訪問団に伝えたと見られている。（3月18日付 HT 紙 16面）

(2) 18日、BDP 訪問団がオジャランを訪問し、4時間にわたり面会を実施。MIT のクルド問題担当幹部も同席。オジャランは、3月21日のネヴルーズの際に停戦及び PKK の国外撤退を発表するよう同訪問団に指示したとみられる。また、これに関する最終的ロードマップ案は MIT の検討を経て、遅くとも明20日、BDP に渡されるものとみられる。（3月19日付 H 紙 25面）

(3) エルギン法務大臣は、PKK 武闘要員らの国外撤退は、3月21日から年末までの間に完了することが見込まれるとした。（3月19日付 H 紙 25面）

●エルドアン首相、「譲歩はない」

エルドアン首相は、イムラル・プロセスに関して「まるで鋭いナイフの刃の上を我々は歩いているかのようなのである。

（PKK との）譲歩や後退はあり得ない」と述べた。（3月20日付 H 紙 18面）

●オジャランのメッセージ、3月21日発表

(1) エルドアン首相、エルギン法務大臣、フィダン MIT 長官の三者が集まった会合において、3月21日にディヤルバクルで開催されるネヴルーズにおいて、発表される予定のオジャラン書簡に関して話し合いがなされた。何語（注：クルド語またはトルコ語）で発表されるかが焦点であった模様。（3月20日付 H 紙 18面）

(2) 21日、オジャランのメッセージは、ディヤルバクルにおいて開催されるネヴルーズにおいて、トルコ語及びクルド語によって発表される予定。（3月21日付 H 紙 26面）

●発表されたオジャランのメッセージ内容

21日、ディヤルバクルにおいて開催されたネヴルーズにおいて、イムラル島において服役中の PKK 首領オジャランのメッセージが BDP 議員らにより発表された。

【オジャランのメッセージ概要】

・今日、我々は新しいトルコ、新しい中東、新しい将来に既に目覚めつつある。

・政治的、社会的、経済的な側面を強化するプロセスが始まった。民主主義的権利、自由、平等を基礎とした相互理解が進んでいる。

・我々（クルド人）のこれまでの献身、闘争は無駄ではなかった。クルド人は、独自性、根拠、アイデンティティを新たに獲得した。

・新たな時代が始まった。武器ではなく、政治が前面に出てくる時であり、武装要員らは国境外に撤退する段階を迎えた。

・これは終わりではなく、新しい始まりである。これは闘争をあきらめるのではなく、さらに異なる闘争を始めると

いうことである。(3月21日付R紙インターネット版)

●エルドアン首相、PKK系RojTVの放映権無効を要請

エルドアン首相は、訪問中のデンマークにおいて、2012年1月10日に同国裁判所がRojTV【注】の放送権を無効としない判決を下したことに對して失望したと述べ、今後、テロ闘争の枠組みでRojTVに対して必要な決定がなされることを要請。これに対し、Thorning-Schmidt デンマーク首相は、RojTVの放送権を無効とする法的整備を今後数ヶ月の内に議論すると応じた。(3月21日付H紙24面)

【注：RojTV】デンマークを本拠とするPKK系放送会社。

●国会の非合法盗聴調査委員会

(1) 13日、国会の非合法盗聴調査委員会は内務省治安総局諜報部及び軍警察(ジャンダルマ)において合法的盗聴がどのように行われているかについてブリーフを受けた。(3月14日付HT紙18面)

(2) 14日、国会非合法盗聴調査委員会は、MITと通信省を訪問し、関係者から説明を受けた。フィダンMIT長官は、同委員会の国会議員らに対して、「進んだ民主主義においては、進んだ諜報活動が可能となる、MIT法を変更して問題を解決したい」と述べた。(3月15日付HT紙16面)

●元駐トルコ米国大使の発言

ロス・ウィルソン元駐トルコ米国大使は、「トルコと米国は両国関係の歴史で最も良好な時期を迎えているが、シリア、イラク、イラン、イスラエルのようなテーマに関しては問題がある、今後12～15ヵ月の間でさらに問題が深刻化することもあり得る」と述べた。(3月15日付H紙24面)

●世論調査：イムラル・プロセスを踏まえた政党支持率

世論調査「2013年3月トルコのアジェンダーイムラル・プロセス」の調査結果(Konsensus調査・コンサルタント会社主催、2月22日～3月4日、81県、1500人(18歳以上男性749名、女性751名))。(3月15日付HT紙18面)

【世論調査結果】

Q. 今日総選挙ならば、どの政党に投票するか。

2013年3月	2012年12月
AKP 50.7%	50.7%
CHP 24.2%	27.7%
MHP 15.3%	12.8%
BDP 5%	6.4%
その他 4.8%	その他 2.4%

Q. エルドアン首相が大統領就任するならば、誰がAKP党首に就任すべきか。

アブドゥッラー・ギョル	24.9%
ヌマン・クルトウルムシュ	14.3%
アリ・ババジャン	9.9%
ビナリ・クルトウルム	9.9%
ビュレント・アルンチ	9.0%
アフメット・ダーグトオール	5.0%
スアット・クルツ	4.5%

Q. エルドアン首相のいないAKPに投票するか。

2013年3月	2012年12月
いいえ 24.3%	13.1%
はい 75.7%	86.9%

Q. クルチダルオール党首のいないCHPに投票するか。

2013年3月	2012年12月
いいえ 14%	0.9%
はい 86%	99.1%

パフォーマンス満足度	満足	普通	不満
・エルドアン首相	49%	12.3%	38.7%
・クルチダルオール CHP 党首	26.8%	13.9%	59.3%
・パフチュリ MHP 党首	21.1%	15.4%	63.5%
・デミルタシュ BDP 党首	8.9%	9.9%	81.2%

●CHP議員、AKPに移籍

(1) アイマン・ギュレル CHP 議員がクルド人差別発言をしたことに反発して CHP を離党したサリフ・フラット議員(トルコ東部のアディヤマン選出)は、AKP に入党すると発表。(3月18日付HT紙16面)

(2) CHP 関係者は、今回のフラット議員の AKP 入党騒ぎは、「AKP が新大統領制を実現するために必要な 330 議席を国会で確保するための第一歩となる」との見方を示した。(3月20日付T紙10面)

●イスラエル、トルコに謝罪の用意あり

ダニー・アヤロン・イスラエル外務副大臣は、トルコ人9名が亡くなったマーヴィ・マルマラ号事件に関して、イスラエルがトルコに謝罪する用意があると述べた。同副大臣は、米国政府がアフガニスタン国境付近で軍人と誤ってパキスタン兵士を殺害した事件で、米国がパキスタンに謝罪したケースと同様の形式となる可能性に言及。(3月19日付HT紙20面)

●チャナッカレ勝利の日98周年記念式典

メフメット・ギョルメズ宗務庁長官は、チャナッカレで行われたゲリボル戦闘(注：第一次大戦における激戦の一つ)殉職者のための式典に初めて参加し、殉職者、戦士らのためにコーランの祈りを行った。(3月19日付HT紙16面)

●アンカラのAKP党本部及び法務省に同時攻撃

(1) 19日20時50分、アンカラにおいて厳重警備の下にある法務省に手榴弾2弾が投げ込まれ、軽傷者1名。同時にAKP党本部8階のエルドアン首相執務室を目標としてロケット砲が打ち込まれた。デンマークを訪問中のエルドアン首相は、ギュレル内務大臣及びエルギン法務大臣から報告を受けた。報告の中には、DHK-Cによる犯行を示す布の写真も含まれていた。(3月20日付H紙20面)

(2) アンカラ同時攻撃から15時間後、DHKP-Cは犯行声明を発表。法務省に投げ込まれた手榴弾はロシア製で40年もの。AKP党本部に打ち込まれたロケット砲は62mmM72型。(3月21日付M紙1面、21面)

(3) エルドアン首相は、アンカラ同時攻撃は、エルゲネコンに関係があり、過去にも同様の攻撃があった、エルゲネコン関係者が裁判過程を引き延ばすために行ったものだとして攻撃を非難。(3月21日付H紙25面)

【政府要人の訪問日程】

●エルドアン首相、デンマーク及びオランダ訪問(3月19日～3月20日)

【シリア情勢関連】

●シリア反体制派グループ、「暫定政権」首相を選出

(1) シリア革命反体制派勢力国民連合(SUKO)の73メンバーは、「首相」を選出するためにイスタンブール市ギュネシュリのホテルに結集。今後選挙にて選出される首相は、シリア国内で反体制派らが制圧した地域で任務につくことになる。候補者は8名。(3月19日付H紙23面)

(2) シリア革命反体制派勢力国民連合(SMDK)は、ハサ

ン・ヒト氏を暫定政権首相に選出。同氏は、主にイスラム主義系メンバーの支持を得て、65 票中 35 票を獲得した。同氏は、クルド系反体制派で、1963 年ダマスカス生。1994 年インディアナ・ウェスレヤン大学経営修士課程修了。その後多数の外資系企業で幹部を務め、2001 年に米国においてムスリム・アラブ少数派人権保護協会を組織。既婚で子供は 4 人。(3 月 19 日付 M 紙 25 面)

(3) シリア反体制派によって暫定政権首相に選出されたハサン・ヒト氏はクルド系で米国国籍も保有。小中等教育をダマスカスで終えた後に、米国に渡り 25 年間技術通信会社を運営、4 ヶ月前まではテキサスの通信会社役員を務めていた。子供 1 人は既に反体制派グループに参加。トルコ外務省は、暫定政権首相の選出を歓迎。(3 月 20 日付 H 紙 40 面)

●シリアのアレッポ、化学兵器搭載ロケット攻撃
19 日、シリア北部アレッポ付近の村に対して、化学兵器を搭載したロケット砲が着弾。31 名が死亡、100 名以上が負傷。シリア情報大臣は、この化学兵器攻撃に関して、シリア反体制派、トルコ、カタール、サウジアラビア等がテロリストを武装させ化学兵器攻撃を行わせたと発表。エルドアン首相は、そもそもトルコは化学兵器を保有しておらず、かかる嘘を平気で公言する大臣を有するシリアがいかなるレベルの国であるかを示した事件であると述べた。(3 月 20 日付 H 紙 40 面)

●トルコへのシリア人避難民数：18 万 8421 名 (3 月 19 日現在) (トルコ首相府緊急災害対応総局 (AFAD) のウェブサイト)

2. 軍事

●参謀総長がパトリオットミサイル配備地を視察

14 日、ネジデット・オゼル参謀総長がパトリオットミサイル配備地 (アダナ、ガーズィアンテップ等を視察。(3 月 15 日付 HD 紙 4 面)

【参考：パトリオットミサイルの配備場所 (NATO 発表)】

ドイツ保有パトリオット：カフラマンマラシュ

米国保有パトリオット：ガーズィアンテップ

オランダ保有パトリオット：アダナ

●保健・国防両大臣が病院建設予定地を視察

メフメット・ミュエジンオール保健大臣とイスマット・ユルマズ国防大臣は、イスタンブールの軍所有地であった病院建設予定地を視察。(3 月 15 日付 HD 紙 6 面)

●ウクライナ軍の特殊作戦用イルカが黒海へ

ウクライナ海軍は、特殊作戦用としてイルカの訓練を実施していたが、2 月 24 日、5 頭のイルカに武器等を装備した訓練中、3 頭が黒海へ逃げた。同イルカは、艦船・潜水艦への爆弾設置、通信妨害、自爆攻撃等を実施できるよう訓練を受けていた。(3 月 15 日付 C 紙 13 面)

●ロシア海軍が地中海配備強化

ロシア海軍は、地中海へ配備する艦船を 5~6 隻に増強し、配備強化を行うと発表。(3 月 18 日付 HD 紙 3 面)

●エルゲネコン事件、検事の最終論告求刑

2003~2004 年にかけて、政府転覆計画に参加したとされる軍人、警察官、報道関係者、大学教授、野党政治家等が裁判されているエルゲネコン事件に関し、18 日、スィリブリ裁判所において、検事が論告求刑を行った。主要な求刑は以下のとおり。

- ・終身刑 66 名
- ・19 年~38 年の懲役 1 名

・7.5 年~15 年の懲役 7 名

・無罪 11 名

エルゲネコン事件では、一時的なものも含めて、現在まで 588 名が拘束、現在も 71 名が刑務所に勾留中 (3 月 19 日付 V 紙 1 面)

●トルコ・パキスタン空軍が合同軍事演習

トルコとパキスタン両空軍は、4 日~18 日にかけて、合同軍事演習を実施。(3 月 19 日付 HD 紙 6 面)

●トルコ、世界第 4 位の武器輸入国

ストックホルム国際平和研究所によると、トルコの武器輸入額は、一昨年の 9 億ドルから昨年 12 億ドルになり、インド、中国、米国に次ぎ世界第 4 位となった。(3 月 19 日付 HD 紙 11 面)

●元参謀総長、エルゲネコン事件担当検事を批判

イルケル・バシュプー元参謀総長は、弁護士を通じ「もし国内法の最高刑が死刑であれば、検事は自分に死刑を求刑するつもりだっただろう。自分をクーデターの首謀者に仕立てようとしている検事に対し、政治家は何かしらの行動を起こす必要がある」と発言し、エルゲネコン事件担当検事に対し不快感を示した。(3 月 20 日付 V 紙 18 面、21 日付 V 紙 20 面)

3. 経済

●全支払いの 18%でビザ・カードが使用される

ベルナ・ウルマン・欧州 Visa 社地域営業部長は、2012 年にトルコにおいて現金を含めて行われた全ての消費活動の内 18%がビザ・カードで行われた、2015 年にはクレジットカード及び銀行キャッシュカードで行われる売買が 3000 億リラに到達するが、そのうち 20%がビザカードで支払われると考えていると述べた。(3 月 15 日付 C 紙 11 面)

●電力会社 BaskentGaz 社の落札企業が最終確定

電力会社 BaskentGaz 社 (アンカラ地方に電力を供給) の民営化に伴う TorunlarGida 社への売却について、14 日、シムシェキ財務大臣は、民営化最高評議会 (OYK) が承認を行った旨明らかにした。BaskentGaz 社の民営化作業は 2008 年 3 月に始まったが、落札業者の義務不履行による入札取り消しが繰り返され、今回の入札は 4 回目であった (3 月 15 日付 H 紙 8 面)。

●病院におけるバイオメトリクス方法による人定確認

病院が社会保障機構 (SGK) から、実際には行っていない治療をあたかも行ったかのように見せかけて健康保険料を詐取する行為を防止するため、現在 20 県の病院で患者の手のひらの静脈を使って人定事項を確認するバイオメトリクス技法が試験的に導入されている。しかし、「一時的」または「永久的」に両手の使用ができない患者については本件措置は免除されている。ヨズガット県の某病院では 4300 名もの患者が「一時的に」両手を使えなかったとして、また、ネヴシェヒル県の某病院では、1050 名もの患者が「永久的に」両手を使えなかったとして、社会保障機構に対し治療費の請求を行ったことが判明。なお、本件措置は 4 月 1 日より全トルコの SGK 病院に拡大される。(3 月 15 日付 HT 紙 9 面)

●携帯電話料金の比較がインターネットで可能に

(1) 17 日、ユルドゥルム運輸海事通信大臣は、3 月 19 日以降、携帯電話に係る各種料金については、携帯電話会社がインターネットにおいて料金表を開示することになると述べた。同大臣によると、情報通信庁の決定により実現される本件措置により、消費者は、各企業のウェブサイト

を見ながら料金比較が可能となる。(3月18日付 HT 紙 12 面)

(2) 19日、Turkcell, Vodafone, Avea の携帯会社 3 社はインターネット上での料金表開示を開始した。(3月20日付 HT 紙 9 面)

●サバンジュ財閥、電力供給会社民営化 2 件を落札

15日、国営電力供給会社 (Ayedas, Toroslar, Dicle, VanGolu) の民営化に関する入札が行われ、うち Ayedas 及び Toroslar 社をサバンジュ財閥が落札した。落札額は Ayedas について 12 億 2700 万ドル、Toroslar については 17 億 2500 万ドル。この取引後、サバンジュ・ホールディングの株価は 2.94% 上昇した。(3月16日付 S 紙 9 面)

●アナドル・グループ、Alternatifbank の株式の 70% を売却へ

アナドル・グループが、Alternatifbank の株式の 70.84% をカタール商業銀行に売却する内容の合意書に署名がなされた。取引額は 8 億 2900 万リラ。これにより、アナドル・グループの保有する同銀行株式割合は 25% に減少する。(3月19日付 HT 紙 10 面)

●アナトリア横断天然ガス・パイプライン (TANAP) 合意、官報に掲載

トルコ・アゼルバイジャン間で天然ガスを輸送する「アナトリア横断天然ガス・パイプライン」(TANAP) に関する政府合意が官報に掲載された。同プロジェクトは、アゼルバイジャンのシャフデニス鉱区等から産出される天然ガスをトルコに輸送するパイプラインで、輸送能力は年間 160 億 m³。2012 年 6 月 26 日に政府間合意が署名されていた。(3月19日付 M 紙 9 面)

●国立大学病院の医師による勤務時間外治療が可能に

18日、エルドアン首相は、現在制限されている国立大学病院の医師による勤務時間外の治療を可能とすることを検討している旨明らかにした。同首相によると、勤務時間外治療の場合、患者が支払う治療費の一部が時間外労働の対価として医師に支払われることになる。(3月20日付 H 紙 9 面)

●健康保険費の支払免除対象者が 950 万人から 1100 万人に

低所得を理由とする健康保険料支払免除対象者の確定は、2012 年 1 月 1 日から所得調査の結果決定されることとなったが、調査開始以前は 950 万人だった健康保険費支払い免除対象者の数は、所得調査 (1528 万 2000 人に実施) の結果、1106 万 3092 人に増加した。(3月20日付 HT 紙 8 面)

●Vestel 社、年末までにスマートフォン製造を開始

ゾルル・グループ傘下の Vestel 社のトゥラン・エルドアン取締役は、これまでスマートフォン製造に向けた作業を続けてきたが、本年年末までに製造を開始できる見込みであると述べた。同社は、すでにタブレット型パソコンや電子黒板の製造販売を行っている。(3月21日付 HT 紙 10 面)

●トルコ東部で投資活発化の兆し

トルコ東部 15 県に対するトルコ政府による投資誘致政策は、2013 年 1~2 月期で去年同期比大幅増 (特にシャンルウルファ県で 3 倍、ディヤルバクル県で 6 倍) となっており、これに応じて同地域への投資額も、2012 年通年で 4 億 5600 万リラだったのが 2013 年 1~2 月期だけで 19 億 1800 万リラに増加している。東部への投資増は今後政治面での進展を踏まえて更に増加することが期待される。(3月21日付 H 紙 10 面)

4. 治安

●イスタンブール県警、DHKP/C に対する取締を実施

(1) 14 日朝 6 時、イスタンブール県警は、シシリ市オクメイダヌ区ピヤレパシャにある建物进行搜索し、幹部 1 名を含む DHKP/C メンバー 13 名 (うち 6 名は 18 歳未満) の身柄を拘束し、多数の証拠書類を押収した。同建物は鉄の扉等で厳重に防御され、メンバーが共同生活を送っていた。(15日付 DN 紙 6 面、14 日付 AA)

(2) 19 日早朝、大イスタンブール市シシリ市オクメイダヌ区において、イスタンブール県警は DHKP/C 関連建物への搜索を実施し、メンバー 13 名の身柄を拘束するとともに、4 丁の違法所持拳銃、無線妨害装置 (ジャミング装置) 及び組織関連文書等を押収。(20 日付 AA)

●ドイツ治安当局とテロ対策で捜査協定を締結

14 日、ドイツ治安当局との間で、テロ対策 (資金洗浄) のために各国が情報交換を行う捜査協定を締結。(15 日付 TZ 紙インターネット版)

●過去 11 年間の軍警察による防諜対象者は 47 万人

軍警察情報機関は、国会の傍聴調査委員会に対し、過去 11 年間の防諜対象者は 47 万人 (2002 年の防諜対象者は 380 名、2012 年は 3 万 3,622 名) であったと報告。(15 日付 TZ 紙インターネット版)

●エルドアン首相、ギリシャ首相との会談で、テロリストメンバー移送に合意

エルドアン首相は、3 月初旬のギリシャ首相との会談で、ギリシャで身柄拘束中のテロリストメンバー 2 名 (DHKP/C と MLKP (マルクス・レーニン共産主義者党) メンバー各 1 名) の移送により、両国間の関係改善を図ることで合意した。特に MLKP メンバーのゼキ・ギュブズは PKK と関係があるとされ、実際に彼は、MLKP メンバーを北イラク・ガレに所在する PKK キャンプでの軍事訓練のための派遣業務を行っていた。(15 日付 TZ 紙インターネット版)

●アメリカ人女性殺害被疑者の身柄を拘束

17 日、警察当局は、2 月 2 日にイスタンブールで単独観光旅行中であったアメリカ人女性撲殺事件の被疑者の身柄をハタイ県において拘束。(17 日付 AFP)

●CHP アタシェヒル支部政務所に対し、火炎瓶投てき
17 日、大イスタンブール市アタシェヒル市所在の CHP 政務所に対し火炎瓶が投てきされた。(17 日付 C 紙 4 面)

●同日に連続爆弾事件が発生

(1) 20 日、マルテペ市所在の市庁舎に対し、音響爆弾が投てき後に爆発。負傷者無し。

(2) 同日、カルタル市所在の市立図書館出入り口で時限式爆発物が発見され、県警爆発物処理隊が出動し、安全に処理した。

両事件に関し、ムトゥル・イスタンブール県知事は「当地では時々あることで、特に恐るるに足りない事件である」と発言。(21 日付 AA、TZ 紙インターネット版)

5. 社会

●タクシム広場の一部、歩行者に開放

タクシム広場の歩行者天国化プロジェクトが急ピッチで進められている。14 日よりタクシムの一部が歩行者に開放された。タルラバシュからエルマダー方面への車両用トンネル工事が順調に進み、道路には歩行者天国となるようアスファルトが敷かれた。タクシム中央広場からタリムハーネ方面に一時的に設置されていた歩行者用の歩道橋は使命を終えて閉鎖された。プロジェクト期間 240 日の半分が

経過。7 月にはタクシム広場は歩行者天国となり、車輛は地下を通ることになる予定。(3 月 15 日付 HT 紙 23 面)

●1915 年の戦士たち

ゲリボル(ガリポリ)半島の国立歴史公園での「歴史への敬意」プロジェクトの一環で、2008 年より Opet 社(ガソリン)及びチャナッカレ県庁共催の「歴史への敬意公園」が 17 日オープンした。バンバルスストゥ前線での塹壕の様子を表した像は 9 ヶ月で完成。トルコ人兵士とオーストラリア人、ニュージーランド人兵士たちの模型が実物大で作られている。(3 月 18 日付 HT 紙 17 面)

●マスラックにおける騒音が最大

ユルドゥズ工科大学の「都市と人間」クラブが行った「都市と騒音」と題した研究で、イスタンブールの騒音事情が明らかになった。学生たちは 7 グループに別れ、カドウキョイ、ウスキュダル、イスティクラール通り、ブユックデレ通り(マスラック)、エミノニュ・カラキョイ、ラーレリ・ベヤズット、サルエルで 30 分間、騒音を録音した。調査の結果、騒音が最もひどいのはマスラックで、騒音が一番少なかったのはサルエルと判明。(3 月 19 日付 HT 紙 24 面)

●黒海で震度 4.5 の地震

19 日、黒海からボスフォラス海峡につながる黒海沖で震度 4.5 の地震が発生。14 時 45 分に発生した地震の震源の深さは 10.7km。この地震の後、震度 2.3 から 3.1 の余震が 6 回観測された。今回の地震は、近々起こると懸念されているマルマラ地震と関係はないと見られている。【注】新聞に記載の震度はトルコでの震度であり、日本の震度とは異なる(3 月 20 日付 HT 紙 6 面)

●サルエルで狂犬病騒ぎ

サルエル市ウスクムルキョイで狂犬病にかかっている野良犬が発見された。20 日ほど前に、子供(9 歳)が放し飼いにされている犬に脚をかまれ、父親がすぐに軍警察に連絡。子供は病院で手当を受け、犬は捕獲されて野犬収容所に引き渡された。しかし、事件から 5 日後に同犬が死んでいるのが発見されたため、犬の血液を検査したところ、狂犬病ウイルスが発見された。調査書はイスタンブール農業局と厚生局に送られ、ウスクムルキョイは隔離された。同村は今後 6 ヶ月間、外部との動物の出入りが禁止される。(3 月 20 日付 HT 紙 25 面)【注】ウスクムルキョイはイスタンブール北方に所在)

注：本文中の略語の正式名称は以下の通りです。

略語	正式名称	略語	正式名称
AFAD	トルコ首相府緊急災害事態対応庁	ÖSB	PKKの防衛隊
AKP	公正発展党	PKK	クルディスタン労働党
BDDK	銀行監督庁	PYD	シリア民主主義連合党
BDP	平和と民主主義党	RP	福祉党
BSEC	黒海経済協力機構	RTÜK	ラジオ・テレビ高等機構
CHP	共和人民党	SNC	シリア国民評議会
DEP	民主党	SPK	証券取引監査院
DHKP/C	革命人民解放党/戦線	SSM	防衛産業庁
DHMI	国家航空局	TAI(TUSAŞ)	トルコ航空・宇宙産業会社
DTK	民主主義社会評議会	TBB	トルコ銀行協会
DTP	民主社会党	TCDD	トルコ国鉄
DYP	正道党	TEI	TUSAŞ 航空機エンジン産業会社
EDAM	経済外交政策センター	TESK	トルコ商工業連合
EPDK	エネルギー市場監督庁	TİKKO	トルコ労働者・農民解放軍
İDO	イスタンブール海上フェリー会社	TOKİ	トルコ集合住宅開発局
İHH	人権・自由・人道的援助基金	TPAO	トルコ石油公団
İKSV	イスタンブール文化芸術財団	TÜBİTAK	トルコ科学技術研究機構
İSO	イスタンブール産業会議所	TÜİK	トルコ統計庁
İTO	イスタンブール商工会議所	TÜPRAS	トルコ石油精製会社
KCK	クルディスタン共同体同盟	TÜSİAD	トルコ産業・実業家協会
KPG	北イラク政府	TÜYİD	トルコ投資家関係協会
MHP	民族主義者行動党	TYK	トルコ高等教育評議会
MİT	国家諜報機関		

注：本文中のニュースソースの略称は以下の通りです。

トルコ語新聞		英字新聞		通信社	
Cumhuriyet	C	Herald Tribune	IHE	Anadolu News Agency	AA
Hürriyet	H	The Daily News	DN	Agence France Presse	AFP
Vatan	V	Economist	EC	Cihan News Agency	CA
Akşam	A	Today's Zaman	TZ	Doğan News Agency	DA
Milliyet	M	Hürriyet Daily News	HDN	İhlas News Agency	IA
Sabah	S			Interpress	IP
Radikal	R				
Zaman	Z				
Posta	P				
Haberturk	HT				
Taraf	T				

在イスタンブール日本国総領事館

電 話： 2 1 2－3 1 7－4 6 0 0

F A X： 2 1 2－3 1 7－4 6 0 4

E-Mail： istanbulweekly@it.mofa.go.jp

W E B： http://www.istanbul.tr.emb-japan.go.jp/index_j.html

Facebook：<http://www.facebook.com/Japonya.Istanbul.Baskonsoloslugu>

●イベントのお知らせ：**鷗友書道会・田岡正堂と一門書道展**

今般、鷗友書道会会長田岡正堂氏及び鷗友書道会一門による書道展が開催されますので、下記の通りご案内いたします。

日 時： 2 0 1 3 年 3 月 2 4 日（日）～ 2 6 日（火）

1 0：0 0～1 7：0 0（最終日は1 6：0 0まで）

場 所：旧在イスタンブール日本国総領事館（旧総領事館）（İnönü Cad. No.16, Gümüşsuyu, Taksim, İstanbul）

●トルコに9 0 日以上滞在される方は総領事館に在留届を提出願います。

●新規で配信をご希望の方、配信を希望されない方は、以下のメールアドレスにご連絡ください。

istanbulweekly@it.mofa.go.jp